

保育現場に役立つ

記録・お便り作成研修 開催要綱

趣旨 保育現場では、保育記録や週案・月案、保護者との連絡ノート、クラス便り等、多くの記録を保育者が作成しています。

本研修は「保護者との信頼関係構築」と「作成の負担軽減」を両立できるような、記録様式や記録の考え方、保護者への伝え方、子どもの育ちを観察する視点を学ぶことを目的に開催します。

1. 日々作成している「保育記録」の重要性を再確認できます

保育記録には、子どもの生活の様子をわかりやすく記載し、子どもの発達や今後の保育計画に役立っています。それだけでなく、保育者自身の身を守るものでもあることを、改めて確認できます。

2. 保護者と保育者を繋ぐ「生きたお便り」作成について学べます

せっかく子どもたちの様子をお便りに書いても、読んでもらえなければ伝わりません。忙しい保護者が発行を楽しみにするような「魅力的なお便り」を、作成の負担を減らしつつ作成する方法について、講義を通して考えることができます。

3. 保育計画立案のヒントになる内容もたくさん

他園の保育記録や設定保育が実際どう行われているかを知る機会は、あまり多くありません。

ここでは実際に園で活用されている保育計画とその立て方等、多くのヒントが得られます。

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

現役経験が3年以上の保育所保育士等

配信期間

※別途、ご連絡します。

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 10,000円

申込期間

※別途、ご連絡します。

受講可否

※別途、ご連絡します。

プログラム

時間	研修科目	研修内容
約 60 分	講義 1 「保育記録の重要性」	日々作成する保育の記録には、子どもの発達を観察する目的だけでなく、今後の保育計画立案のための現状把握や自らの保育を振り返る際、大きな役割を果たします。これに加え、保育者自身を守ることも目的のひとつです。 保育記録の目的と重要性を確認します。
約 120 分	講義 2 「保育における記録の役割と視点」	子どもの発達を観察する視点には、多くの知識と多様な専門性が必要です。また観察した結果は、自らの保育研究に役立てるためにも、わかりやすく整理して記録する必要があります。 エピソード記録やドキュメンテーションについて基本的なことを学び、保育者に求められる観察と記録について考えます。
約 120 分	講義 3 「保護者との信頼関係を構築する記録・お便り」	子どもの健やかな発達には、保護者と保育者の連携も重要なポイントのひとつです。家庭での子どもの様子を保育者が知り、日中の子どもの生活を保護者と共有する際、保護者との連絡ノートやクラス便りは、どのように活用できるでしょうか。保護者との信頼関係を構築する方法について考えます。

過年度受講者の感想

ICTを取り入れたいのですが、どうしていくと良いか分からず悩んでいました。その為、様々な活用例をだして下さったので、視野を広くして調べてみようと思いました。

テーマ保育がすごいと感じた。子どもの言動を大切にしつつも、保育者が計画している保育にも沿って楽しんでい

実際の記録を用いての解説がとても分かりやすく、また保育所指針の内容からより記録の大切さを改めて知ることができました。

お便りの内容を見ているだけでも、子どもたちの姿が目につかび、おたよりの大切さを感じました。事例を多く挙げて下さったので、より分かりやすかったです。